



学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間性、社会性が豊かな子どもの育成

吉田小通信

北九州市立吉田小学校

校長 上満 佳子

吉田小の4つのこだわり

○ 自分からあいさつ ○ 時間を守る ○ 全員でそうじ

令和7年8月27日 発行 NO.8

○ くつばこの整理

前期後半 スタートしました！

前期後半がスタートしました。一段とたくましくなった子ども達の元気な声が学校に戻ってきました。夏休み中、大きな事故や怪我の報告がなく安心いたしました。保護者と地域の皆様に、子ども達の毎日の生活を見守っていただいたおかげだと、教職員一同感謝しております。

子ども達は、長い夏休み中にいろいろな体験をして、たくさんの思い出ができたことと思います。私自身は、戦後80年という節目の年、多くの書物に触れ、新聞記事を丁寧に読み、ニュースや特集などを視聴し、戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識し、戦争の記憶や教訓を、子ども達に伝えていく責務があると感じました。また、高校野球などのスポーツ観戦を楽しみながら、多くのことを考えさせられました。選手の皆さんのパフォーマンスする姿や協力する姿に感動をもらいました。できるまでやり続けることを大事にした成果が、結果につながった人もいればそうでない人もいます。しかしながら、全力で取り組む姿は、人の心を打つものだと改めて感じました。子ども達も自分の描く夢を実現するため、夢中になって自分の好きなことに取り組み、自身の夢を実現してほしいと切に願っています。なりたい自分に近付ける前期後半にしていこうと話しています。一人一人がめあてをもち、実現のために努力することを支援していきたいと考えています。

残暑の厳しさが続いています。十分な安全対策を講じながら、子ども達一人一人にとって充実したものになるようにと、願っています。全教職員が一体となって、子どもたちの力を伸ばす教育活動に取り組んでいきます。子どもたちが、早めに生活のリズムを取り戻せるよう、ご家庭のご協力をお願いいたします。

自分の身は自分で守るために ～地震に備えたシェイクアウト訓練～

「9月1日防災の日」にちなんで、地震発生時に備えたシェイクアウト訓練を8月26日に全校で行いました。実際の緊急速報の音源を使って実施しました。地震発生時には、あわてることなく、自分の身を守るためにどのような行動をとればよいかが大事になります。それぞれの学級で、「揺れがおさまるまで、机の下にもぐり、姿勢を低くして自分の頭や体を守ること。また揺れで机が動いてしまわないように、しっかり机の脚をもつこと。」を指導しています。おうちにいる時に、地震が発生したら、どのような行動をとればよいのか、ご家庭でも話し合ってください。



まずひくく あたまをまもり うごかない

先生方も研修に励みました！

夏休みの間、教職員も子ども達の笑顔を思い浮かべながら、研修を通して学んだり、前期後半の準備をしたりしてきました。吉田中学校区三校合同の人権教育研修を行ったり、アンガーマネジメントの校内研修をしたり、各自選択した教科等の研修会に参加したりして学びを深めました。

夏休みの作品を見て

子ども達が頑張って取り組んだ夏休みの作品を見ると、保護者の方もアイディアを出したり相談にのってくださったりしたことが伝わってきます。工作や絵、自由研究など、自分の思い描くアイディアを形にしていく過程で、発想力や思考力、手先の器用さ、自主性などが育まれると思います。何より「楽しい」「できた」という喜びや達成感は、子ども達の心に残ると思います。作品を見あいながら、友達同士ほめあう姿を見かけ、ほっこりしました。